



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp>

〈No.64〉



特集 新体育館完成

1974年に建設後、約40年間使用されてきた旧体育館が取り壊されてから1年。新体育館がいよいよ完成しました。セントポールズジム・プール・フィールド等、生まれ変わる立教新座中学校・高等学校のスポーツゾーンの中心施設となる新体育館は、1階にサブアリーナ・柔道場・ミーティングルーム・体育科準備室等を配置し、2階にはメインアリーナを中心に配置しています。3号館や新本館とも直結することで利便性も向上しています。今回のキャンパスニュースでは、完成間もない新体育館を紹介します。

定礎のことは



「雄々しくあれ、心を強くせよ」

この言葉は聖書の詩編の一節から渡辺憲司校長が選んだ言葉です。体育館横の4号館の定礎には「強くまた雄々しくあれ」という言葉が刻まれています。新校舎(本館)が完成した後は学友会館として使われることになっている4号館と、今回完成したばかりの新体育館を舞台に、これから様々な活動が行われ、多くの生徒たちが心と体を強くして行ってほしいという願いが込められています。体育館の入口横に刻まれているこの文字を、時には目に留め、その言葉の意味を感じて下さい。

保健体育科より

2013年度3学期より、新体育館が使用開始となります。新体育館建設にあたっては、多くの方の協力があつたことはもちろん、授業や課外活動の面で、生徒の皆さんに多大な不便をかけました。今まで、ごく当たり前のように入用していたものがなくなり、あらゆる場面で我慢や工夫をしながら1年間を過ごしてきましたが、ようやく昨年までの当たり前だった生活が戻ってきます。皆が待ちに待った体育活動ができるようになることでしょう。

3階フロア(ギャラリー部分)がなくなった代わりに、メインアリーナが広くなりました。冷暖房が取り付けられ、ドアや窓、大型換気装置の設置により風通しも良くなるよう設計されています。

また、階段教室はなくなりましたが、柔道場は拡張され、トレーニングルームも充実しました。これにより、旧体育館より良い環境で授業展開ができ、課外活動にも取り組めるはずです。

この1年間は、授業や課外活動・行事など、様々な場面で当たり前だった「あるはずの体育館」がなくなったことにより、改めてそういった施設のありがたさを実感する機会となりました。感謝しながら、今後の体育活動を今まで以上に充実したものにできるよう、日々精進してほしいと思います。

保健体育科主任 森田 泰生

サブアリーナと柔道場

以前はサブフロアと呼ばれていた1階のフロア部分。旧体育館と比較すると面積自体は縮小していますが、これまで置かれていたトレーニングマシン類がトレーニングルームに移動するため、生徒が活動できるエリアは拡大しています。

サブアリーナ・柔道場については天井高を最も低い部分でも4m確保。それぞれの床材には衝撃吸収性に優れた工法を採用し、広い空間・高い天井高と合わせて幅広い利用に対応します。また、サブアリーナ・柔道場・トレーニングルームにはLED照明を採用しており、省エネルギーに配慮した作りになっています。



サブアリーナ



柔道場

〈体育館1階〉

トレーニングルーム



トレーニングルーム

旧体育館では約58㎡だったトレーニングルームは、今回約198㎡へと大幅に拡張され、これまでサブフロアにまで置かれていたトレーニングマシンを、全てここに設置することが可能となりました。雨天時に多くのクラブが同時に使用する際にも、今までの混雑状況はかなり緩和されることでしょう。

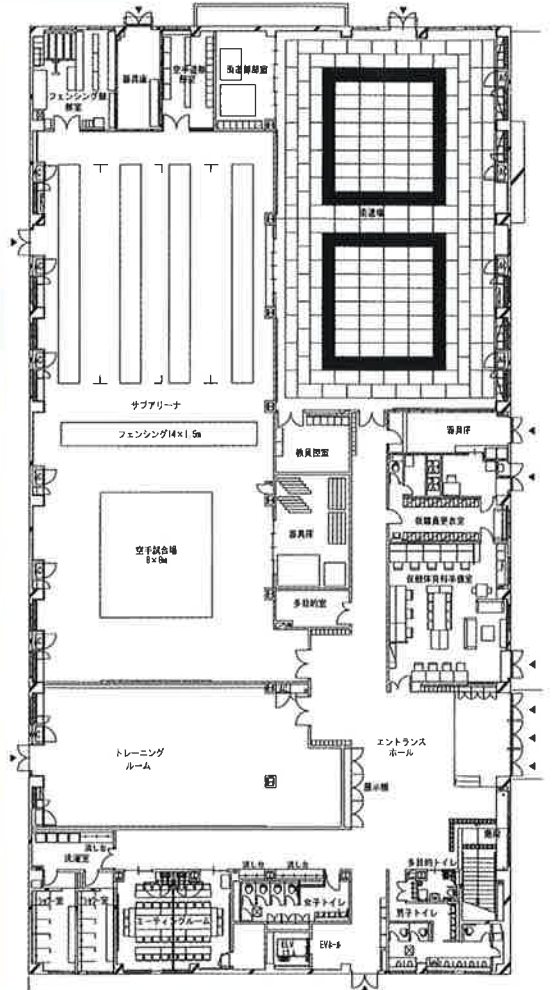


エントランスホール



玄関とエントランスホール

新校舎の完成後、旧校舎の取り壊しが完了すると、中学校舎と新校舎の間にキャンパスストリートが通り、その終点が新体育館の入口です。授業、部活でのスポーツ利用はもちろん、様々な式典やイベントにも利用される施設として、広々としたエントランスホールになっています。サインや掲示板等には立教のシンボルカラーを採用。また、正面の壁面にガラス張りのトロフィー棚を設けることで、イベント時の来校者や対外試合での対戦相手に立教を印象付けるようなレイアウトになっています。



〈新体育館の設計を担当した類設計室の方にお話を伺いました〉

Q：建設中の苦労した点や工夫したポイントを教えてください。

A：立教新座中学校・高等学校に関わる全ての皆さんの思い入れのある本校舎（著名な建築家アントニン・レーモンド氏設計）を解体する上で、細心の注意と敬意を払いながら工事を進め、なおかつ、学校内外への騒音・振動・粉塵・臭気対策を考慮して効率的に工事を行いました。

1階部分が鉄骨鉄筋コンクリート造、2階部分が鉄骨造のハイブリッドである体育館は、建物の高さを高く、2階にメインアリーナを配置するために、精度よく高所で施工するための検討を行いました。またそれぞれの部分で使用している外壁材が違ってきます。1階部分は現場で施工するコンクリートですが、2階部分は工場で製作されたコンクリートパネルを鉄骨に取り付けています。この現場施工

のコンクリートと工場製作のコンクリートパネルの色を合わせるのに苦労し、サンプルで何度も色合いを確認しながら調整を行いました。

メインアリーナ、サブアリーナはフローリング張りとなるため、スポーツ利用の安全性を確保する上で、絶対に割れや欠け、ひび割れのないような仕様を検討し、施工に反映しています。屋根付きテラス部分に設置された手摺についても、安全確保が非常に重要なため、試験施工を行いながら安全性や機能性を確認した上で、最終形状の決定を行いました。

安全面への配慮はもちろんのこと、一見しただけではわかりにくい外壁や内部の設備など、いろいろなお苦労があったことがわかります。いつまでも快適に使用できるよう、大切にしたいものです。

メインアリーナ



メインアリーナ

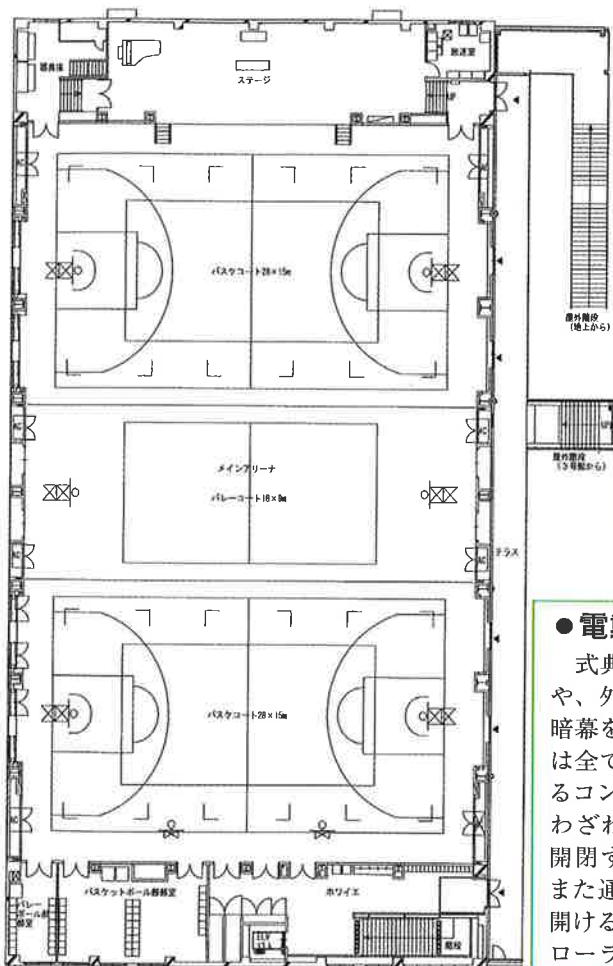
新体育館には、鉄骨鉄筋コンクリート造と鉄骨造のハイブリッド構造を採用。これは通常の施設の1.25倍の高い耐震性能を実現する構造です。メインアリーナの天井高は最も低い場所でも11mを確保。様々なスポーツの利用に対応しています。また、縦型の窓と、明るい色の木製パネル、繊細な部材で構成した白い天井により、広がりとお上り感が感じられるよう設計されています。

新体育館のここがポイント!!

● 冷暖房と大型換気システム

メインアリーナ・サブアリーナ・柔道場・トレーニングルームには冷暖房が可能な空調設備を設置し、四季を通して快適に利用できる環境になりました。各フロアにはそれぞれ大型の換気設備と新鮮な空気の入力口を設け、夏場に冷房を使用しなくてもある程度快適な環境を作り出せるように設計されています。特に、1階の空気は、建物の地下部分であるピットを通った空気を利用することで、少し冷やされた空気が入り入れられます。2階メインアリーナでは天井近くに大型の換気装置が設けられており、上部にこもりがちな熱気などを排出することでエアコンも効果的に機能するように設計されています。

〈体育館2階〉



テラス (右側は3号館)

● 電動の暗幕と窓

式典会場として使用する際や、外光が眩しい時などには暗幕を使用します。その開閉は全てメインフロアの壁にあるコントローラーでできます。わざわざ誰かが上まで行って開閉する必要はありません。また通風のために上部の窓を開ける際にも、同様にコントローラーで操作できます。

● 3号館から直結

メインアリーナの外側、新本館・3号館側の部分には幅広の屋根付きのテラス空間があります。ストレッチや軽運動を行う空間として利用できるだけでなく、イベントの時には外部から直接メインアリーナにアクセスできる動線としても機能します。新校舎完成後には本館とも結ばれますので、立教新座中高の施設が一つに繋がります。授業での移動はもちろん、式典などの際にも有効に利用可能です。

チャペルだより

心身の成長 新体育館落成にあたって

2013年度初頭から工事が続けられていた新体育館がついに完成し、2014年の幕開けと共に使用が開始されるのは大きな喜びです。この体育館でこれから多くの授業や学友会活動、また式典が行われ、人生の節目に立会い、感動的な場面に出会うであろうと想像すると胸が高鳴ります。

新約聖書の福音書には、心身共なる成長が重要であると明記されています。イエス・キリストの成長についてルカによる福音書第2章52節には、「イエス

は知恵が増し、背丈も伸び、神と人々に愛された」と書かれていますし、イエス・キリストの先駆けとして神から遣わされた洗礼者ヨハネも、同じルカによる福音書第1章80節に、「幼子は身も心も健やかに育ち、イスラエルの人々の前に現れるまで荒野にいた」と書かれています。イエス・キリストは幼子としてこの世界に生まれ、一人の人間として成長を遂げて、聖書に書かれている宣教活動を行いました。これは心身の成長がすべての人間にとってとても重要であることを示しているのです。

人間の心と体は互いにつながっています。正しい姿勢が授業に臨むよい心

につながるように、心と体は一体です。立教建学の精神もまた、心身の健康という大きな前提のうちに据えられています。喜びや悲しみを共にし、人生の苦難や試練を、忍耐をもって乗り越えることができる、たくましい心身を育て上げる器として、この新しい体育館がさざげられたと言っても過言ではないでしょう。新しい体育館が、若い力のみなざる場であってほしいと心から願います。

これから新体育館で行われるすべての活動の上に、神様の祝福と導きが豊かにありますよう祈ります。

チャプレン 鈴木 伸明

キャンパストピックス

理科海外研修旅行

2013年12月22日(日)～29日(日)の8日間、第1回理科海外研修「オーロラを見よう!」を実施しました。場所は、スウェーデンのキルナという北極圏にある小さな町です。12月25日の夕方に、私たちは、この写真の中央にあるような大きなオーロラを見ることができました。このオーロラは、カーテンが舞うように静かにゆっくりと波打ちながら頭上を移動していきました。初めて見る現象に、参加者全員が思わず感動の声をあげてしまいました。なお、遠くの方に見える薄い緑色の一筋の光もオーロラの一種で、diffuseオーロラと呼ばれています。

引率責任者 林 壮一



セントポールズフィールド着工へ



完成イメージ図

現在、フィールドは土のグラウンドですが、「セントポールズフィールド」として生まれ変わります。トラックには陸上競技用のウレタン素材が、トラック内側には人工芝が敷かれ、全天候型のフィールドになります。工事期間の約半年間は使用できませんが、6月下旬～7月上旬の完成(予定)を楽しみに待ちましょう。

新体育館 開扉式



1月8日には、中学生・高校生の全学年ができあがったばかりの体育館に集まり、メインアリーナでの初めての学校行事として3学期の始業式が行われました。

始業式に先駆け、前々日の1月6日には開扉式が執り行われ、教職員、工事関係者、そして完成を心待ちにしていた生徒たちが、新体育館完成感謝の祈りを捧げました。

校長・教頭・事務長が揃って入口の扉を開けた瞬間の大きな拍手は、待ちに待った新体育館完成の喜びの大きさを表しているようでした。

行事予定～中学校～

1/25(土)	中学校入試第1回・帰国児童入試
26(日)	中学校入試第1回・帰国児童入試合格発表
27(月)	授業再開
28(火)	中学校入試第1回・帰国児童入試入学手続(～2/2)
2/2(日)	中学校入試第2回願書窓口出願
3(月)	中学校入試第2回
4(火)	中学校入試第2回合格発表・入学手続
11(火・祝)	中学校入学予定者・保護者登校日
12(水)	マラソン大会
15(土)	中学校入学予定者心電図聴力検査
26(水)	中学3年期末試験(～28日)
3/4(火)	中学1・2年期末試験(～6日)
15(土)	卒業式
19(水)	終業礼拝・生徒総会
20(木)	春季休業(～4/7)
4/8(火)	入学式
9(水)	始業式

行事予定～高等学校～

1/28(火)	高校推薦入試・地域指定校制推薦入試入学手続
2/1(土)	高校一般入試
2(日)	高校一般入試合格発表
7(金)	高校一般入試入学手続
12(水)	マラソン大会
24(月)	高校1・2年学年末試験(～28日)
3/8(土)	高校入学予定者教科書販売日
14(金)	卒業式
18(火)	高校1・2年英語スピーチコンテスト
19(水)	終業式・生徒総会
20(木)	春季休業(～4/7)
4/8(火)	入学式
9(水)	始業式

Campus News Rikkyo Niiza 第64号

編集：立教新座中学校・高等学校
 教務・入試広報課
 発行：立教新座中学校・高等学校
 〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25
 ☎048-471-2323(代表)